

失敗から次の扉の鍵もらう

竹本 タエ子

「適切に」それが難しこの暑さ

藤井 節子

今日も来たおねだりうまい地域ねこ

石田 洋子

ふらつくも妻のビールをニケース

田中 たづ子

この暑さ汗をふきつつ秋思う

磯部 佳子

しっばいからつぎのとびらのかぎもらう

たけもと たえこ

「てきせつに」それがおずかしこのあつき

ふじい せつこ

きょうもきたおねだりうまいちいきねこ

いしだ ようこ

ふらつくもつまのビールをふたけーす

たなか たづこ

このあつさあせをふきつつあきおもう

いそべ よしこ

島影の見えて右舷へ帰省の子

田中 孝利

終戦忌父は無言で語りをり

林 保江

立ちこぎで坂道登る夏旺ん

山本 隆子

古里へスタンプ二つ夏見舞

金内 憲一

本堂をあっと風抜け夏鶯

林 美津江

しまかげのみえてうげんへきせいのこと

たなか たかし

しゅうせんきちちはむごんでかたりおり

はやし やすえ

たちこぎでさかみちのぼるなつさかん

やまもと たかこ

ふるさとへすたんぷふたつなつみまい

かねうち けんいち

ほんどうをあっとかせぬけなつうぐいす

はやし みつえ

夏祭り子供みこしのワッショイが
暑さ蹴散らし参道に行く

賤間 星

卒寿こえ健やかな伯父の腰まげて
自作の里いも手みやげに来る

河野 敬子

朝いちの友のメールの向日葵は
真青の空に背のびしている

原田 たえ子

夢のなかの亡夫に何度も問いかける
「生まれかわったの」笑みてこたえず

福江 博子

変えたいが一票だけじゃ変わらない
重い心で投票にゆく

山口 正子

なつまつりこどもみこしのわっしょいが
あつさけちらしさんどうをいく

ざいま せい

そつじゅこえすこやかなおじのこしまげて
じさくのさといもてみやげにくる

かわの としこ

あさいちのともめーるのひまわりは
まさおのそらにせのびしている

はらだ たえこ

ゆめのなかのつまになんどもといかける
「うまれかわったの」えみてこたえず

ふくえ ひろこ

かえたいがいっぴょうだけじゃかわらない
おもいところでとうひょううにゆく

やまぐち まさこ

自由律俳句

八階からの眺めこの街の泣き笑い

佐川 智英実

坊主あたま夏を走る

松下 満江

そっぽを向いて百合が一本

権代 祥一

流れる雲のちぎれて金魚

岡村 裕司

どこまでもカッコウの鳴く登山道を歩く

田中 里美

はちかいからのながめこのまちのなきわらい

さがわ ちえみ

ぼうずあたまなつをはしる

まつした みつえ

そっぽをむいてゆりがいっぽん

ごんたい しょういち

ながれるくものちぎれてきんぎょ

おかむら ひろし

どこまでもかっこうのなくとざんどうをあるく

たなか さとみ